

JOMSA講演論文集

執筆要項

1. 書式

A4紙(ISO 210 x 297 mm), 横書き, 余白は, 上35mm, 下30mm, 左右, 25mm. 本文の日本語用のフォントは, MS明朝 10.5ポイント, 英数字用のフォントは, Century 10.5ポイントを使用し, 行間は一行とする. 1行に43字程度, 1ページに47行を標準として, 1ページは, 2,000字相当のスペースとする. 原稿の枚数は, 和文のタイトルページ, 図表, 参考文献を含めて, 4ページから16ページ(PDFファイル容量 5MB以内)とする. 原稿は原則, JOMSAの提供する論文テンプレート, JOMSA-Conference Template-Japanese, 上で作成すること.

2. 体裁

原稿は次の順にまとめる.

- ・ 和文タイトル, 和文著者名 (所属, 大学名, 会社名等のみ) から始め, 以下を続ける.
- ・ 和文概要 (400字以内)
- ・ キーワード (3語句以内)
- ・ はじめに
- ・ 内容
- ・ まとめ
- ・ 謝辞 (必要な時)
- ・ 参考文献

3. 節

節に番号をつける. 節の前に, 1行だけ空ける. 節と節の間は, 1行だけ空ける. 節のタイトルと本文の間は, 1行も空けない. パラグラフは1字下げて始める. パラグラフ間は, 行を空けない.

句読点に関しては, 「。」「,」ではなく, 「.」「,」を用いること.

3.1 小節

小節の前に, 1行だけ空ける. 小節と小節の間は, 1行だけ空ける. 小節のタイトルと本文の間は, 1行も空けない. パラグラフは1字下げて始める. パラグラフ間は, 行を空けない.

句読点に関しては, 「。」「,」ではなく, 「.」「,」を用いること.

4. 脚注

脚注はなるべく使用しない.

5. 式

式は, 左揃えにタイプする. 式番号は, 右揃えで, 全体で続き番号とし, (1), (2) のように記す. 式の上下は, 1行空ける. なるべく, “a/b”, “exp(-y)” のように表示し, 行の節約に努める.

6. 図表

図のキャプションは, 下に, 表のキャプションは, 上に, MS明朝, 10.5ポイントで表示する.

7. 参考文献

本文中で文献を参考する場合は, (佐藤, 2002)と記す. また, 著者或いは論文を主語とする場合等は, 佐藤 (2002)と記す. 本文中で参照した文献のみ, 全てを, 参考文献の節でリストする. 欧文をアルファベット順に並べ, 次に, 和文を五十音順に並べる. 参考文献は以下のように記述

する。参考文献リストは、和文MS明朝、9PT、英数字Century, 9PTでタイプすること。

参考文献

Bessley, M. and Wilson, P. (1984), "Public policy and small firms in Britain," in Levicki, C. (Ed.), *Small Business Theory and Policy*, Croom Helm, London, pp. 111-126.

Casson, M. (1979), *Alternatives to the Multinational Enterprise*, Macmillan, London.

Fox, S. (1994), "Empowerment as a catalyst for change: and example from the food industry," *Supply Chain Management*, Vol.2, No.3, pp. 29-33.

Electronic sources should include the URL of the web site at which they may be found along with the date of latest access.

佐藤太郎 (2002), 「論文タイトル」, 『雑誌名』第1巻, 第1号, pp. 15-30.

田中五郎, 鈴木次郎 (2003), 『本タイトル』出版社名.

山田三郎 (2004), 「章のタイトル」, 鈴木次郎編『編著書タイトル』出版社名, pp. 115-130.